

「ウイズ生成 AI の時代を生きる」を読んで

近年急速に普及した AI の中の chatGPT には、自分もたまにお世話になっている。しかしその際気を付けなければならないのは、この読み物の中にも述べられている通り、用語などの知識はあるものの時には、不適切な回答をすることがあるため情報を鵜呑みにしないことである。ChatGPT は確かに質問の内容を理解したうえで項目を挙げ、結論を述べてくれるため文章はそれらしいものが生成されるが、確認のため自分で調べてみると間違った情報であることも多々ある。この点からすべてを AI に任せるということはなかなか実現不可能に近い話だが、膨大なデータを学習させ、取りまとめられる能力と、人間のひらめきと考える能力と合わせて活用すればより良い時代が訪れるのではないかと思う。

農業分野での AI の活用は、現在進行形で進められているが、AI が高齢農家の熟練した技術や経験などをデータとして収集・分析ができれば新規就農者の役に立つのではないかと思った。また AI からは少し離れてしまうが、農家が農作業を行っている様子を VR などによければ新規就農者に対する研修になったり、一般の人の農業理解や興味につながるのではないかと思った。

「スマート農業の死角」を読んで

最近授業などで、スマート農業について学ぶことが多いが、そのどれもがコストが高く、なかなか導入し、定着させるということが現実的ではないものばかりであると思う。国の政策としては、農業人口が減少する中いかに効率的かつ稼げる農業にしていくかということに重きが置かれがちだが、この資料にある通り